

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	格子、保型形式とモジュライ空間の総合的研究
研究代表者	金銅 誠之（名古屋大学・大学院多元数理科学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、代数曲面のモジュライ空間や自己同型を中心に、そこに現れる格子や保型形式を、数理物理学、有限群論といった周辺分野も視野に入れた広い視点で研究することを目的としている。応募者は、代数曲面論の世界的権威であり、本研究を遂行し、十分な研究成果を上げることが期待される。</p> <p>一部、前回の基盤研究（S）として採択された研究課題からの本質的な差異が見られないのではないかと懸念する意見もあったが、マシュー・ムーンスシャインのような新しい現象も発見されており、更なる広がりがみられることから、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>